

『旅路の果て』

1939年／フランス映画／ジュリアン・ディヴィヴィエ監督作品

華やかな舞台を去り老人ホームで過ごす 元俳優たちそれぞれの人生の終章

戦前に製作された古い映画だが今も忘れがたい。

この映画は俳優専門の老人ホームが舞台である。こんな時代にこんな老人ホームがあるのも驚きだが、華やかな舞台を去り、老後を送る俳優がどんな思いをもって人生の終末を過ごすのかは興味深いものがある。

しかし、それ以上にこの映画が今も強く心に残っているのは、終章の締めくくりのところにある。そこには人間の悲しさ、人生の重さが凝縮されており、軽い気持ちで観終わることを許さないものがあつた。登場する人物は、今は老人ホームにいるものの昔は俳優として華やかな生活をしていたという共通の立場でありながら、現役の頃の俳優としての格の違いと自分なりの歴史を抱え、個性的な人達である。主役の陰で代役しかまわってこなかった元＜下積み＞、主役として名を馳せたが恋人を仲間にとられ、やる気をなくして引退した元＜名優＞、往年のもてる男を演出すべく自分で自分宛にラブレターを書く自己顕示欲の強い元＜二枚目＞など様々である。

この老人ホームが経済的困窮に陥り、現役の俳優が援助に立ち上がり、慈善公演を行なうことになった。ところが、主役俳優の事故で先の元＜名優＞に代役の話が来た。それを知った元＜下積み＞は、一生に一度舞台でセリフのある主役をやりたいと、その役を自分に譲ってくれと頼み、力づくで押し

のけて舞台に立つ。しかし、舞台に上がったもののセリフが出てこず、舞台を台無しにしてしまう。その男はそれを苦に間もなく自殺してしまい、やがて場面は葬儀のところに移る。ところが、彼は死ぬ前に自分の葬式で読んでもらいたいと弔辞を書き残していた。それには“偉大な俳優に列せられるべき人物で、その才能は比類なきものであつた”と賞賛する内容であつた。それを元＜名優＞が読むことになる。しかし、事実と異なる内容の弔辞であつたため、途中で読むことが出来なくなり、それを脇において、思うがままの弔辞を述べる。“彼は俳優としては大根役者であつたが、友人としては実にいいやつだつた。偉大なる魂よ、安らかに眠れ”という内容に変えるのである。故人への友情に満ちたこの弔辞は聞く人々の心を打つ――虚飾を捨て、あるがままで生きることの尊さを伝えた。

人間というものとはどんな境遇におかれても、過去に築いたプライドを捨てられず、たとえホームで暮らす仲間に対してもその評価は譲歩しない。監督ディヴィヴィエの人間を観る目は冷静であり、映画の奥は深い。人間の持っている悲劇性、人生を見据えるこの終章は年を経るにつれ忘れられないものになっていく。

(会員 小篠 映子)

Book 最近、おもしろかった本

『食品の裏側—みんな大好きな食品添加物』

安部司 著 東洋経済新報社 1470円(税込)

食生活への危険と恩恵と 正しく知って考えたい食品添加物

『廃棄寸前のクズ肉も30種類の「白い粉」でミートボールに甦る。コーヒーフレッシュの中身は水と油と「添加物」だけ。虫をつぶして染めるハムや健康飲料』

帯に踊るなかなか刺激的なキャッチコピーに違わない内容である。本書では、1500種類以上の添加物を見分ける「食品添加物の神様」と呼ばれた添加物の元トップセールスマンが、食品製造の舞台裏を明かしていく。

著者は、カップラーメン、ハム、明太子など身近で気軽に食している食品の数々が、添加物によって作られている実態や食品表示の問題点などを指摘し、我々の添加物への無知に警鐘を鳴らす。

例えば、コンビニの弁当を買う際に、健康のために野菜も摂ろうとパックサラダも一緒に買っている人は多い。しかし、その健康のためのサラダが『「殺菌剤」のプールで何回も消毒された』ものであるのだから皮肉なものである。この事実を知っていながら「健康のために」サラダを買う人はい

るだろうか。だが、それ以前に少し考えて、どうして切った野菜がいつまでも新鮮に売られているのかという素朴な疑問を持たなければならないのである。

もっとも、著者は、単に添加物の危険性ばかりを煽り立てるのではなく、我々の食生活が食品添加物の恩恵なしでは成り立たない現実をも肯定し、そのジレンマを我々自身が考え、自己責任で決定していくべきことを教えてくれている。本書はそのための情報を提供するものである。

私は本書を読んで一週間ほどコンビニの食品を裏返して表示を見てみたが、添加物を含まない食品は皆無であった。なるほど、添加物は「安さ」、「手間」と引き換えなのだ。その事実を知り、どこで線を引き、受け入れるかを自分で決定するのである。私は一人暮らしでコンビニ無しの生活は考えられないが、とりあえず、練り物の肉製品やパックサラダは買わないようにした。

(会員 甲斐 伸明)

